

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(中学校)

坂井市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	三国	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	課題を解決するために生徒同士で話し合いや教え合いが自然と生まれる仕掛けを増やし、体育が好きになるような授業づくりを行った。	3年生では、選択授業の中で課題を解決するために生徒同士で話し合いや教え合いを行った。ICT機器や実技教科書を用い、競争よりも達成感や楽しさを重視し、生涯スポーツの基礎を育成した。
2	丸岡	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体育委員が中心となり、体育祭の種目内容やスポーツ大会のルール決めなどを行い、生徒主体のスポーツイベントを展開した。	体を動かしながら友人とのコミュニケーションを図ることで、運動の楽しさを感じていた生徒が多く見られた。
3	丸岡南	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	グループ学習やペア学習を多く取り入れ、ICTを活用して生徒同士で教え合う機会を増やし、「運動が楽しい」と感じる生徒を増やせるようにした。	器械運動の単元では、自分の姿を動画で撮影し、見直すことで、体の使い方に気付いた生徒が増え、互いにアドバイスし合いながら活動し、意欲的に取り組む姿が多く見られるようになった。
4	春江	中学校	本校の体力向上の取組みについて	単元における個人の課題やチームの課題に協同して取り組んだ。生徒同士でアドバイスし合い、互いに評価し合うことに取り組んだ。	ICTを活用し、仲間の動きを分析し、適切なアドバイスをすることができた。技能の高い生徒がお手本を見せるだけではなく、技能向上のアドバイスをすることができた。
5	坂井	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	ICT(AIスマートコーチ)を活用した授業を陸上(ハードル走)や器械運動で実施した。	陸上(ハードル走)や器械運動でAIスマートコーチを使用することにより、お手本となる動画と自分の動作を比較した。ポイントを確認したり、動作を改善しようと生徒同士で教え合う様子が見られた。